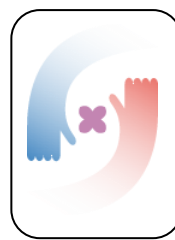


次の世代につながる新たな価値観の創造へ ～札幌から全国へ発信！～



日本女性会議 2014 札幌 参加報告

～未来の景色は、わたしたちが変える～をテーマに 2014 年度の日本女性会議が 10 月 17 日（金）～19 日（日）紅葉美しい札幌で開催された。今回のロゴマークは男女の手で「sapporo」の頭文字「S」を形取り、二つの手が札幌のライラックを包んでいると表現。女性と男性が家庭生活・職場や地域などさまざまな場面で協力し合う様子を表している。大会会場もスタッフも男性が気持ち例年より多いように感じた。開会式はアイヌ伝統舞踊で始まり北海道らしい幕開けだった。大会詳細は下記のとおり。今回の内容で例年と一味違うのは、分科会は 2 日目に行われ

1 日目

*開会式

挨拶：大会長 札幌市長 上田 文雄
実行委員長 林 美枝子
札幌市議会議長 高橋 克明
祝辞：北海道知事 高橋 はるみ

*アイヌ伝統舞踊

*基調報告

「日本の男女共同参画施策の現状と
今後の課題について」

内閣府男女共同参画局長 武川 恵子

*分科会（1～10 分科会）

2 日目

*特別講演

100 歳まで弾くからね！
～母として、コンサートマスターとして～
ヴァイオリニスト 大平 まゆみ

*記念講演

強くやさしい社会を実現するために
～次世代へのメッセージ
筑波大学体育系准教授/柔道家 山口 香

*分科会報告会

*シンポジウム

「今、ここから始まる。」

*閉会式

*エクスカージョン

るのが通常だが、1 日目に開催。理由は分科会は参加した以外の内容がなかなか知りえない。そこで、1 日目に行い、2 日目に分科会報告として皆で共有できるようにされたこと。工夫された事に感動！分科会を悩んで決めて他のも聞きたかったと思う方も多いはず。この方式はとても良いと思った。私が参加した分科会は、国際社会における男女共同参画でアメリカニューヨーク州初の日系人判事、トウコ・セリタさん。ドラッグトリートメント・メンタルヘルス・人身売買に関する司法専門の第一人者。通訳入りで時間がかかったが、中でも一番感じたのはアメリカでは企業がかなり協力的だということ。日本はまだまだだと感じた。

今回の女性会議で私が一番感動したのは、記念講演。世界選手権日本女子として初の金メダル、ソウルオリンピック銅メダルに輝いた柔道家山口香さん。女子柔道の改革の道をユーモアたっぷり力強いメッセージに勇気を頂いた。「女性から発信されたことは価値を生む」「生理的違いを認めて乗り越える」柔道という力の世界で生きた彼女ならではの実感こもる言葉だった。2015 年は倉敷での開催。成功を祈り札幌を後にした。

（文責 頓宮美津子）